

会報

熊本県日中協会

平成25年
12月発行

《発行》
熊本県日中協会
会長 米満弘之

《事務局》
〒860-0846
熊本市中央区城東町4-2
熊本ホテルキャッスル2F

Tel 096-356-4847
Fax 096-325-2829

通刊87号

～さらなる友好の絆を～



中国国旗や刺繍鞠を飾り付けた日中協会のテント。ワンタンは茹でたてを販売



ワンタン五個入り
温かスープ



熊本県国際協会が主催する第二十回熊本国際交流祭典が、十一月二十四日、健康商店街で開催されました。この催しは、様々な国との交流団体が参加して、バザー、グルメ、パネル展示、ステージ披露などを行う祭典で、当協会もグルメ部門



第20回

熊本国際交流祭典

に参加して、手作りのワンタンスープと麻花(マナア)を販売。



他団体のテントも美味しそう

上々。麻花も毎年出品していることもあって、「前に買って美味しかったから」



海外の雑貨などのバザーコーナー

海外の文化など身近に 県日中協会も「食」を出展

前日に十人以上の中国帰国者の皆さんに協力してもらい、丸一日かけて準備。皮からすべて手作りのワンタンスープは味の評判も

と来てくれる固定客もできました。売上から経費を差し引いた収益金は、県国際協会を

通じて、伊豆大島とライリピンの台風災害義援金に寄付をしました。



煎茶体験コーナー



着付けコーナーで和服を着せてもらった留学生たちが楽しそうに談笑



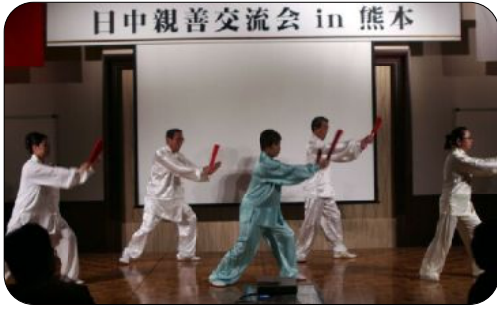
民族衣装の子供たちの登場など、ステージでも様々なイベントが披露されました

第32回
熊本春節祝賀会
平成26年 2月13日(木)
午後6時～

会場:熊本ホテルキャッスル
会費:10,000円

多くの皆様のご参加をお待ちいたします

日中親善特集



中国から伝わり、日本でも広く知られている太極拳の表演

蒲島郁夫熊本県知事と李天然総領事の来賓あいさつ
の後、熊本県商工会議所連



和やかなムードで始まった交流会場

名刺交換やゴルフ談義 市民レベルの交流に成果

合会の田川憲生会長の乾杯の音頭で祝宴が開始されま



「大変忙しくまモンと県知事がそろって参加しているのは、この交流会をとて重要だと思っっているから」と蒲島郁夫熊本県知事



乾杯の音頭をとる熊本県商工会議所連合会の田川憲生会長



「熊本の皆様の中日友好への熱意に感動している。熊本―上海間の航空路線の開通にも取り組んでい」と李天然総領事

い。あちらこちらで歓声が上がっていました。

乾杯後すぐから、初対面の方同士の名刺交換やゴルフの話題で、会場は大賑わ

した。



元留学生会長の鄧敏捷さん

また、熊本在住の中国人留学生の叶俊さん、胡一輝さんや、元留学生で現在は熊本で就職している鄧敏捷さんに、会場内に用意したスクリーンに写真などを映しながら、中国語と日本語で熊本での生活を紹介するプレゼンテーションも行われました。



熊本県側の大歓迎に、中国から来熊の方々も大感激。楽しい時間はあっという間に過ぎ、JA熊本中央会の園田俊宏会長の閉会の辞で交流会は終了。参加者たちは名残惜しそくに会場を後にしました。



留学生のプレゼンテーション・最近の交流活動をプロジェクターで紹介しながら、さらなる友好を誓いました

お詫び
会報86号でご紹介した協会実施のバザー出品協力者の欄で、大代純市様のお名前が漏れておりました。謹んでお詫び申し上げます。

医療法人社団寿量会

熊本機能病院



24時間救急センター (循環器・骨折・四肢外傷)

熊本機能病院

検索

会長・総院長 米満 弘之

熊本市北区山室6丁目8番1号 TEL 096-345-8111

友好への 思い

②

日中友好への思いを、中国の思い出を交えながら、日中協会会員の方々に自由に語ってもらうコーナーです。

日中協会会員

竹地勝治氏



私が中国の土を踏んだのは、二〇〇七年十月。上海の空港で機内から出て最初に吸った空気がゴムの少

焦げた匂いだったように覚えていきます。

遠かった南寧

飛行機を乗り継いで三時間半、南寧は遠いな。途中、機上から夕陽も見ました。

日中国交正常化二十五周年記念で県議団の方々とASEAN博覧会と県の友好都市・南寧の皆さんとの交流会への参加が私の中国の旅の始まりです。夜八時過



歓迎の生花のコサージュを参加者一人一人の胸に

一転、なんと美しい公園の中に立っている感じ。聞く

「国交正常化二十五周年」に参加

交流会など思い出いっぱい

ぎに着いたホテルは玄関以外は真っ暗。翌朝起きるとと、北京の要人が来た時に泊まるホテルだとか。



オープニングセレモニーの踊りで大々的な歓迎を受けました



ASEAN博覧会場からの眺め。会場も周りも、綺麗に整備されていました

博覧会は大会場に品物が所狭しと溢れ、野外展示場にはトラックや農機具が並び、どれ無骨でデザインもいま一でした。

日本園の開所式に参加

二〇一〇年十月、二回とも県の方と一緒。博覧会見学と「日本園」の開所式、それに知事自らが熊本県産のお米を売り込むという企画に参加。博覧会は前回よりも規模が大きく、展示物も洗練され感心しました。

ASEAN各国のブースも広がったものの、中国製品のオンパレード。中国製品を売り込む博覧会だと後から聞き驚きました。

日本園は開所式が行われたものの、工事が遅れ一部の出店でスタート。

この旅行で日中協会の方と同行したのが協会入会のきっかけです。

上海と雲南に「大きな差」

昨年七月、三回目の中国は日中協会の皆さんとおとも、市民レベルの交流会など、思い出深い旅でした。

最後に、先日「雲南の子」という映画をみました。中国は広い国だとわかりますが、上海と雲南の差がありすぎると思いました。子供達は中央で何が起きているのかも知りません。でも広い中国ではひとにぎりの砂かもかもしれません。また、行ってみたい。謝謝

ミンシチュ-ガーツ- 名師出高徒

立派な先生からは立派な学生が生れる



編集後記

今年も師走を迎え、いつものことながら、時の経つの早さを感じます。米満新会長のもと、協会活動の活発化を念頭に、機関紙の紙面では会員の方が語る「中国への思い」のコーナーを設けました。

協会員の方ができるだけ多く参加してもらう機会を、との願いからです。少ないスタッフは多忙な身を押し、色々なアイデアを提案しながら、その中から出来る範囲の活動を推進しています。

悩みの種は、企画の実働部隊になる若手会員が少ないことです。入会しなくなるような、若手を誘うための魅力づくりが求められていることは、役員一同、十も承知です。来年も避けて通れない大きな課題の一つになりそうです。皆様のお知恵をお待ちしています。

(機関紙編集委員会)

・小串 照彦